

Sp

みらいへ駆ける

Sports Science Course

スポーツサイエンスコース

#専門種目 #データサイエンス #スポーツ探究 #コーチング

SEIZAN 2026



惺山高等学校

Sports Science Course

スポーツサイエンスコース

『スポーツから取り出す、多面的な学び』
— 専門種目・データサイエンス・スポーツ探究・コーチング —

惺山高等学校は
文部科学省
DXハイスクール
採択校です

2026年
SEIZAN
新コース
スタート!

想いをカタチに変える、力を

— 学びながら選べる6つのコース —

- 1年次は全コース統一授業、2年次からそれぞれのコースに所属します。
- 高校で学びながらコースを選ぶことで、希望や適正とのミスマッチをなくし、自分の進路にあわせた選択が可能になります。

スポーツサイエンスコース **新** カリキュラム スポーツ探究～動作分析、戦術分析、課題解決能力、専門種目の指導～

DXの“SEIZAN”ならではのスポーツコース

スポーツの持つ多面性を大きく4分野に分け、スポーツ活動を通じて、さまざまなスキルを獲得します。特に、動作分析・戦術分析・ゲーム分析などデータを用いてプレイヤーの状況を客観的に分析する力を身に付けていきます。

■コース適性の高い人 a person fit to the course

- ✓専門種目の競技力を向上させたい人。
- ✓科学的な知識を元にスポーツ分析を学びたい人。
- ✓スポーツの多面性を学び、スポーツに関わる仕事に就きたいと考える人。
- ✓将来、専門種目の競技指導にあたりたいと考えている人。



惺山高等学校 強化指定部

- ・硬式野球部 ・女子硬式野球部 ・サッカー部(男子) ・剣道部(男女) ・卓球部(男女)
- ・女子バレーボール部 ・男子ハンドボール部 ・女子ハンドボール部
- ・男子バドミントン部 ・女子バドミントン部 ・陸上部(男女)

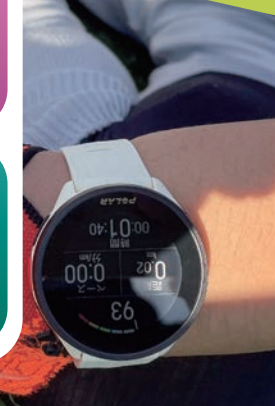


課題解決力の
獲得
スポーツ探究学習

競技力の
向上
部活動での
それぞれの専門種目

競技指導力の
獲得
専門種目の指導を通じて
コミュニケーション力を培う

スポーツ
パフォーマンス分析
上級学校・外部講師との
連携プログラム



新しい
入試のカタチ

コースセレクション入試とは？

「このコースで学びたい!」と強く希望する方を対象とした入試制度で、合格とともに希望コースへの配属が確約されます。
出願資格は9教科の評定合計25以上。本校のオープンスクール(サマチャレ!・オータムチャレンジ・ファイナルチャレンジ)に1回以上参加することが出願の条件です。

- 条件S 授業料月額28,900円まで補助、入学金・施設充実費免除、コース優先選択権
- 条件A 授業料月額15,000円まで補助、施設充実費免除、コース優先選択権
- 条件B 施設充実費免除、コース優先選択権
- 条件C コース優先選択権 ※授業料については、2026年度から無償化となる可能性あり。

スポーツサイエンスコース

- プレゼン例 ・中学校時代のスポーツ活動について(部活動含む)
- ・高校のスポーツ活動とその目標、達成へのプロセス

▶ 詳しい内容はサマチャレでご案内します!

プレゼンテーション型
入試



Sports Science Course

スポーツサイエンスコース



HPへGO!

卒業生の活躍

菅井 信也 投手、1軍に定着して大活躍!



2022年 埼玉西武ライオンズ 入団
菅井 信也さん(2021年度卒業)

2021年ドラフトで西武ライオンズ・育成3位指名を受けた本校卒業生 菅井 信也 投手。昨年夏に1軍に昇格すると、2025年シーズンは先発ローテーション入りし、ここまで4勝。安定したピッチングで勝ち星を重ねています。



惺山高等学校への入学を希望されている中学生のみなさんへ。埼玉西武ライオンズ投手の菅井信也です。みなさんは高校に入って、何をしたいと考えていますか?

私の場合は、「プロ野球選手になりたい!」でした。甲子園に行くことはできませんでしたが、野球部のチームメイトと共に過ごした3年間は、私がプロ野球という世界に飛び込むには欠かせない充実した時間だったと思っています。

ぜひみなさんには、自分が将来何をしたいか、しっかり見つめながら過ごしていただき、惺山高等学校に入学された際には、自分の夢に向かって真つすぐ突き進んで欲しいと思います。

共に頑張りましょう!

謎の投手排出校「惺山」、 ラブソードを導入する

菅井信也投手・栗津凱斗投手と2名の投手が西武ライオンズに在籍していた惺山高校。

DXハイスクールとして「ラブソード」という新しい機材を今年導入しました。ラブソードは投球の回転数や変化の度合いを数値化できる最新のDX機材。デジタルだからこそ人の目には見えない情報でも正確な数値化が可能です。



見えないものを可視化する アプリ「ダートフィッシュ」

動作解析やゲーム分析を幅広く行うスポーツパフォーマンス分析アプリ「ダートフィッシュ」。スキー・アルペン競技の分析にルーツを持つ、スイス生まれのアプリケーションです。スポーツサイエンスコースではこのアプリを導入。サッカー、バレーボール、バドミントンなど、各競技のゲーム分析に利用しています。



最新の科学的知見の 獲得をめざして

日本体育大学 大石健二 教授が実施している体育授業でのICTの利活用に関する研究に対象校として参加し、ICTを用いた新しい体育授業をスタートさせました。

体育授業では、ウェアラブルデバイスを装着し、自分自身の生体データ(脈拍数)を確認しながら競技を実施しています。さらに、「探究」授業で獲得した生体データを分析し、健康維持増進や競技力向上など各個人の目標に適した運動強度を考えています。

授業協力:日本体育大学体育学部
大石健二 教授

